

科目名称	工業簿記論					ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)
英文科目名称	Industrial Bookkeeping					グローバル・コミュニケーション	()	医療事務・医療秘書	(○)
科目コード	590114	授業形態	講義	単位数	2	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
教員氏名	土田 博		年次配当	1年次	後期				
実務経験教員担当	有・ 無		アクティブラーニング			有・ 無			
授業概要及び授業方法	<p>工業会計について学ぶ。製造業における簿記、原価計算を中心に練習問題を解いていくことにする。管理会計の知識は企業人にとって極めて重要であり、特に将来の管理者候補には欠かせないものである。管理会計は未来会計であり、自ら考えることが重要である。 日商簿記検定においては100点中40点を占める科目であり、満点の獲得を目指す。</p>								
関連する科目	「経営と会計」「簿記原理」「会計学」「コンピュータ会計」					卒業認定(学習成果)との関連		①	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工業簿記のしくみ 2. 材料費計算 3. 労務費計算 4. 経費計算 5. 製造間接費計算 6. 部門費計算 7. 個別原価計算 8. 総合原価計算 9. 標準原価計算 10. 原価・営業量・利益関係の分析 <ol style="list-style-type: none"> 11. 原価予測の方法 12. 直接原価計算 13. 製品の受払い 14. 営業費計算 15. 工場会計の独立 								
授業時間外の学習	<p>予習・復習が大切。授業で解けなかった問題は、解けるまでやり通すことが大切。ワークブックを繰り返し練習する。これらを行うためには、1時間の復習は必要。</p>								
授業の到達目標	<p>製品のコスト感覚を身につけ、利益を出すにはどうあるべきかを自ら考える力を養成する。 日商簿記検定2級合格を目指す。</p>								
課題に対するフィードバック	理解するまでの解説を目指す。					評価方法・基準		定期試験の成績(100%)	
テキスト	滝澤ななみ 著「スッキリわかる日商簿記2級工業簿記」TAC出版								
参考書	検定簿記講義(工業簿記2級)中央経済社								
備考	誰でも受講できるが、「経営と会計」「簿記原理」において佐藤先生のクラスの受講者は必ず履修すること。								